

平成30年度学校自己評価システムシート (県立越谷総合技術高等学校)

目指す学校像	社会に貢献する産業人材を育成するために、自ら進んで学ぶ礼儀正しい生徒を育てる
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ姿勢を育て、生徒一人一人の学力を向上させる。 規範意識を高める指導を推進し、豊かな人間性を持った生徒を育てる。 キャリア教育の充実により、進路に対する意識を高め、希望する進路を実現する。 地域等との連携と積極的な情報発信により、本校教育への理解を深める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	10名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> 専門学科への帰属意識が高く、技術を身に付けたり、資格取得の意欲が高い生徒が多い一方で、一般教科の学習を後回しにしてしまう生徒も見受けられる。一般教科と専門教科をバランスよく学習させることが課題である。 授業が理解できない状況の生徒のために、学校全体で組織的に学習環境を整える必要がある。 	<ol style="list-style-type: none"> ①一般教科の授業に計画的に取り組ませる。 ②授業の理解度を向上させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①朝読書のほか朝学習や小テストを行い基礎学力を身に付けさせる。 ②普通教科の学習方法について、教員間で情報を共有し、専門教科とバランスよく学習するよう、考査前には極力会議をなくし補習時間を確保する。 ①理解できていない授業や単元、項目等について、どのように克服しようとしているかアンケートで確認し、必要に応じて学校全体で、学習習慣や朝や放課後補習等の組織的対策を行う方策を練る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①普通教科、専門教科をバランスよく学習しているか。 ②生徒が主体的・対話的に学べる学習機会を提供しているか。 ①補習や朝学習などの学習環境の方策を組織的に練る協議ができたかどうか。 	<p>【計画的な学習】アンケート結果では、専門教科に興味を示す生徒は7~8割と多いが、普通教科も約7割の生徒が興味を示し学習に取り組んでいる。</p> <p>学年ごとに朝読書の他にマナトレ・SPI等の実施を行っている。協調学習の研究授業(公開授業)を、述べ13回行った。</p> <p>【授業理解度】アンケート結果では、考査前には、授業の復習等にしっかり取り組んでいる生徒が多いと受け取れる。また、平素は課題に取り組む生徒が多い。課題量、内容等に関しては、学科間で格差があるかと思われる。また、支援が必要な生徒に対して各教科等で補習等を行い指導してきた。</p>	B	<p>多くの生徒が普通教科、専門教科ともにバランスよく学習し、さらに資格試験の取得を目指し普段から努力している。一方で、学習面で支援を必要とする生徒が、苦手な学習や課題等を後回しにしてしまう傾向にある。課題や補講等の在り方について、全教職員の共通理解が必要である。次年度は、考査1週前を補講週間とし学年毎にスケジュール調整を行うことや、公開授業等の授業研究を充実させる。さらに、新教育課程に向けたカリキュラムマネジメントについて教育課程委員会を中心として職員全体で考える。また、進学者に対する指導を進路指導部と連携して検討する。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識のある生徒がほとんどであるが、交通安全と自転車の乗車マナーや情報モラルに対する意識が希薄な者が多いことが課題である。安心安全な学校のための啓発活動を実施し、生徒の意識や行動を変容させることが課題である。 	<ol style="list-style-type: none"> ①安心安全な学校づくりのための教育環境を充実させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①教職員による通学路での立哨指導を行う。 ②ネットセキュリティ講演会・情報セキュリティ講演会を実施する。 ③教職員が日常的に生徒に声掛けをする。 ④身嗜み指導を継続的に実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①前年より交通事故が減少したか。 ②ネットモラルに関わる生徒指導件数は減少したか。 ③挨拶をする生徒の割合は高いか。 ④ルールやマナーを守る生徒の割合は高いか。 	<p>【安心安全な学校づくり】登下校中の交通事故件数はやや増加した。被害者となるケースが多い。</p> <p>・ネットモラルは低下している。</p> <p>・外部の評価は高い挨拶であるが、生徒の自己評価はやや低調気味。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・登校指導の成果で、学校周辺での交通事故件数は少ない。学校から離れた場所で起きた事例を周知して、交通安全を意識させる必要がある。 ・ネット関係は水面下での人間関係問題も多く、養護教諭やカウンセラーの協力を得て、トラブルの早期発見・早期対応をしていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導への満足度は98%と高水準であった。今年も個々の進路実現に向けた指導の充実を図る。 ・企業は、活発さや挨拶、コミュニケーション能力を求めている。キャリア教育の一環として、生徒に身に付けさせたい点である。 ・新規も含めた企業訪問の拡充を図り、情報収集に努める。 ・進学者の指導体制を整える。 ・企業実習をきっかけに進路を深く意識する生徒が多いため、実習先の確保、拡充に努める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①進路実現に向けた継続的な指導体制を確立する。 ②望ましい勤労観、職業観をしっかりと身に付けさせるために、キャリア教育の充実を図る。 ③進学者を対象とした指導体制を強化する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学年、分掌、教科、学科、委員会で連携し、情報を共有し、生徒個々の進路希望実現に向けた取組を推進する。 ①勤労観や職業観を育成するために、企業実習先を確保し、拡充を図る。 ②達成感や成就感が得られるように資格取得や学校行事、部活動の参加を積極的に促す。 ①大学進学者を中心に英語検定の取得を促し、進路指導部と英語科で協力して補習等の体制を整える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①進路指導全般の満足度はどうか。 ②各種進路行事に対する満足度はどうか。 ①企業実習の体験は、将来の職業選択や「働くこと」について考える上で役立ったか。 ②進路実現に向けて、積極的に資格取得に取り組んだか。 ①英語検定取得に向けて、進路指導部と英語科で協力して補習等の体制を整えたか。 	<p>【指導体制】進路指導全般に対する満足度は94.5%、各種進路行事の満足度は平均して88%であり、昨年より若干下がっている。</p> <p>【キャリア教育】企業実習の体験は、88%の生徒が役に立ったと回答している。進学者よりも就職者の方が役に立っていると回答する生徒が多かった。</p> <p>【進路指導】英語科の教員と進路指導部で協力し、補習等を行うことができた。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、進路指導の満足度を上げるために、アンケートの結果を精査する。進学者に対する指導が手薄であるという意見があったので、進路指導部全体で検討していく。 ・次年度も企業実習を中心として勤労観を育成していく。また、各学科の実習を通して、職業観を育成するとともに、進路希望の実現につなげていく。 ・英語検定を軸に、進路希望者に対する指導を継続して行っていく。
4	<ul style="list-style-type: none"> ホームページや中学校等との様々な関わりを通して、本校の教育活動を発信している。しかし、更なる工夫が必要である。学校説明会等の内容を検討、充実させるとともに、メディア等を活用して本校の活動を発信し、生徒募集につなげることが喫緊の課題である。 	<ol style="list-style-type: none"> ①積極的に情報を発信し、周囲の本校に対する理解を深めるとともに、入学を希望する生徒数を増やす。 ②地域や各種学校との連携により、地域への貢献度と知名度を高める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ホームページを見やすく整理する。 ②部活動や学科の情報更新を行う。 ③コンテスト、競技会の成績を発信して校名を広め、評価を向上させる。 ①小中学生を対象に様々な講座の開講やコンテストの開催を行う。また、各学科の特色を生かして地域のイベントに参加し、本校の認知度および評価を向上させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ホームページが充実したと感じた保護者の割合はどうか。 ②更新回数は増加したか。 ③本校の認知度が向上したか。 ①積極的に連携事業等に取り組んでいるか。 地域貢献により本校の認知度が向上したか。 	<p>【情報発信】HPの全面リニューアルを行った。内容については肯定的意見が3%増加したが、閲覧頻度は「ほとんど見ない(見たことがない)」が17.4%増加した。</p> <p>・HPトップページの本年度1月24日までの更新回数は82回。昨年度同時期は64回であった。</p> <p>【地域との連携】出前授業、産業教育フェアや地域イベントへ積極的に参加した。</p> <p>・地域広報誌や新聞に生徒の活躍が掲載された。</p> <p>・地域評価の一つの指標としての学校説明会参加生徒数は昨年度349人から410人に増加した。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・HPをリニューアルして評価を受けた一方「見ない・見たことがない」が65%を占めた。「興味がない」という理由が増えたため、本校の魅力を発信し興味をもってもらうことを目指す。 ・PC向けHPのリニューアルを行ったが、次年度はスマートフォン版の対応を進めていく。 ・出前授業の依頼中学校が固定化しているので、新規の中学校を開拓し連携の機会を増やす。 ・地域との関わりをより密にし、貢献することにより、地域評価を高める。同時に情報発信し認知度を高める。

学校関係者評価
実施日 平成31年2月13日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、授業だけではなく資格取得等、授業以外の指導もよくやってくれている。 ・各教室に毎朝配布される新聞を、もっと活用してほしい。また、朝読書、マナトレ、SPIの取組を継続していくことは重要である。 ・本校で取得できる資格一覧表を作成し、他学科の資格取得も含めて生徒が資格取得計画を立てやすくし、生徒の学習意欲を向上させるとよい。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校内部は整理整頓されており、規律も守られている。 ・企業は上下関係を理解し、忍耐力がある人物を求めている。部活動を盛り上げる態勢がほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在、雇用状況は良好である。しかし、1~2年で企業を渡り歩く若者もいる。生徒には10年後に何をやりたいのかを考え、真剣に進路選択してほしい。また、地元の中小企業にも目を向けてほしい。 ・目標をもって入学している生徒が多い。その素晴らしい生徒たちを第4次産業であるAI、IOT時代において、自分の意見を発信できるよう生徒を育成してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着した学校である。生徒からも前向きな情報を発信していくとよい。 ・「自分の学校に誇りをもてない」という生徒が多いようだが、メディアに取り上げてもらえるような取組をしてはどうか。卒業生の活躍等を発信していくことで、生徒募集にもつながる。 ・中学校での説明会等は、専門高校に目を向けさせる良い機会なので、積極的に参加するとよい。